

温室効果ガス排出量算出ツール「C-Turtle® FE」の導入について

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、株式会社 NTT DX パートナー（代表取締役社長 阿部 隆）、株式会社 NTT データ（代表取締役社長 佐々木 裕）が提供する、投融資先の温室効果ガス（以下：GHG）排出量を算定する「C-Turtle® FE」を導入しますのでお知らせいたします。

当行は、新中期経営計画において、「豊かな自然環境の維持と継承」をマテリアリティの 1 つに掲げており、2030 年度までに当行グループの GHG 排出量をネット・ゼロとすることを目指しています。また、金融機関においては、投融資先の GHG 排出量（ファイナンスド・エミッション）の算定、開示および削減支援が求められており、正確かつ信頼性の高いファイナンスド・エミッションの算定が課題となっています。

本ツールの導入により、ファイナンスド・エミッション算定のさらなる高度化をはかるとともに、2030 年度のカーボンニュートラル実現に向け積極的に推進してまいります。

【C-Turtle® FEの特長】

地域脱炭素化社会実現においては、GHG 排出量算定および削減に向けた取組みが重要となります。C-Turtle® FE は、GHG 可視化プラットフォーム「C-Turtle®」の新サービスとして、金融機関の国際的基準「PCAF スタンダード」に準拠したファイナンスド・エミッションの可視化と削減を支援するプラットフォームです。

C-Turtle® FE ホームページ <https://www.nttdata.com/jp/ja/lineup/c-turtle/>

PCAFスタンダード対応、金融機関様向けGHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 PCAFに準拠したFE算定

国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融資先別の排出量を可視化します

Point 2 幅広い企業のGHG排出量情報を保有

大企業から小規模企業まで幅広く企業の GHG 排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

Point 3 取引先とのエンゲージメント促進

取引先の GHG 排出量情報を金融機関様へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます

図の提供：株式会社 NTT DX パートナー、株式会社 NTT データ

（以 上）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。